

水痘予防接種説明書（水ぼうそうの予防接種）

●対象者・・・

1歳～3歳の誕生日の前日までに2回

1回目（初回）：標準的には、生後12月から生後15月に至るまでに1回

2回目（追加）：標準的には、初回接種終了後6月から12月の間隔をおいて1回
（ただし、1回目から3か月以上あけると接種できます）

※ 標準期間を過ぎても3歳になる前日までは接種できます。

※ 水痘にかかったお子さんは受けることができません。

●水痘とは・・・

感染力の強い病気で空気感染・飛沫感染・接触感染によって広がり、10歳までに約80%の小児がかかります。

潜伏期間は、通常2週間（10～21日）で、水痘の主な症状は発疹、発熱です。

合併症としては、まれに肺炎、気管支炎、肝炎、皮膚の細菌感染症、心膜炎、小脳炎、髄膜炎、血小板減少性紫斑病などがあります。

水痘-帯状疱疹ウイルスは、水痘が治った後も体内に潜伏し加齢等、免疫力が低下した場合に帯状疱疹を発症することがあります。

●ワクチンの特徴・副反応

水痘-帯状疱疹ウイルスを弱毒化した生ワクチンです。

主な副反応は、発熱、発疹がみられ、まれに接種部位の赤み、腫れ、硬結がみられる。また、まれにアナフィラキシー、急性血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎がみられることがあります。

●予防接種の効果・・・

予防効果については、中等度及び重症者でみると95～100%、軽症まで含めると80～85%で効果があります。

1回だけの接種では約20%が感染することから、2回接種をすすめています。